

## 岡山県環境保全事業団との連携協定による生物調査において 新種の昆虫が発見されました

本市と(公財)岡山県環境保全事業団との連携協定に基づいて実施している生物調査において発見された蛾が、新種として国際学術雑誌に掲載(今年2月29日付、電子版)されました。

### 1 新種の概要と発見の経緯

今回の新種(学名: *Calicotis zhanglini*)は、5～6mmの小さな蛾で、ニセマイコガ科というグループに属します。

本種は、令和4年度に実施した本調査において建部地区の山林で見つかりました。また、台湾でも同時期に見つかっており、同事業団の職員が台湾などの研究者と共同で研究し、新種として国際学術雑誌「*Molecular Phylogenetic and Evolution*」に掲載されました。



©岡山県環境保全事業団

写真 *Calicotis zhanglini* Shen, Terada & Hsu, 2024

### 2 連携協定による生物調査について

市内の生物多様性の状況等を把握するため、これまでに野生生物の調査が十分に行われていない地域において情報を収集する調査であり、令和4年度から実施しています。市内の重要生態系から年に6カ所程度を調査地に選定し、植物・鳥類・昆虫などの生き物の生息・生育状況の調査を行うものです。この調査は今後も継続的に行っていきます。

連携協定の内容: <https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000035986.html>

### 3 新種発見の意義

新種が見つかった場所は、住宅地にも程近く、このような身近な環境にも未知の種が存在することがわかりました。

地域の生物多様性を保全するには、多くの人々が身近な自然を知り、その重要性を理解することが大切です。今回の発見は、市民が自然の魅力に関心を持つきっかけになるものと期待しています。

#### 【問い合わせ先】

岡山市 環境保全課 横山・大月 直通086-803-1284 内線3992・3994